



相模湾のごみの現状と 私たちができること

公益財団法人かながわ海岸美化財団
柱本健司

2022.10.26

神奈川県海岸について



観光資源

海水浴客数: 約475万人/年
沿岸域の観光客数: 6,750万人/年



市民の憩いの場

市街地が隣接
都市公園のように利用

日本一の海岸利用

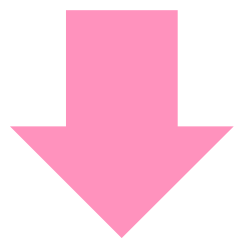
海岸が映画・テレビの撮影で頻繁に使われる

**撮影スタッフがいつも言うこと
「他の地域の海岸とぜんぜん違う」**

「キレイ！ごみが少ない！」



~~「ごみが少ない」~~



「ごみはとても多い！」

けど、

ごみが海岸にある時間が短い

海岸美化の仕組みが機能している

日本で唯一 海岸清掃専門団体

1991年に設立

横須賀市



湯河原町

150kmの

海岸を

通年清掃



海岸清掃の拠点として機能

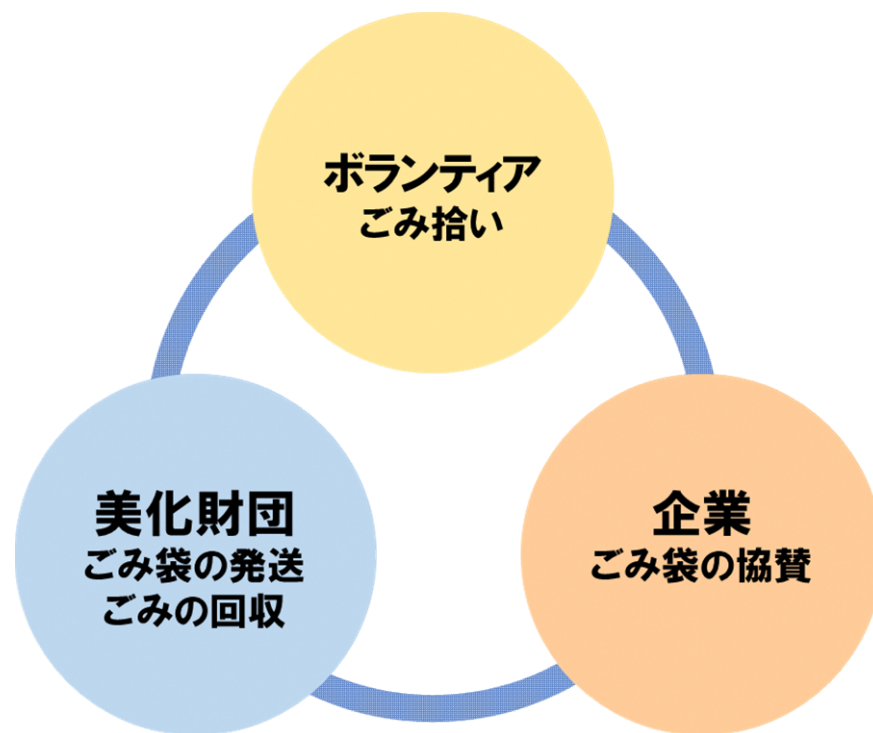
16万人のビーチクリーンボランティアをサポート

1)ごみ袋の提供とごみの回収を無償サポート

2)三位一体の支援の仕組み



美化財団



ボランティア活動の拠点として機能

二つの拠点機能を有する

美化財団の清掃



- 重機を使用
- 広範囲を短時間で清掃
- 年間ごみ回収量：1500トン

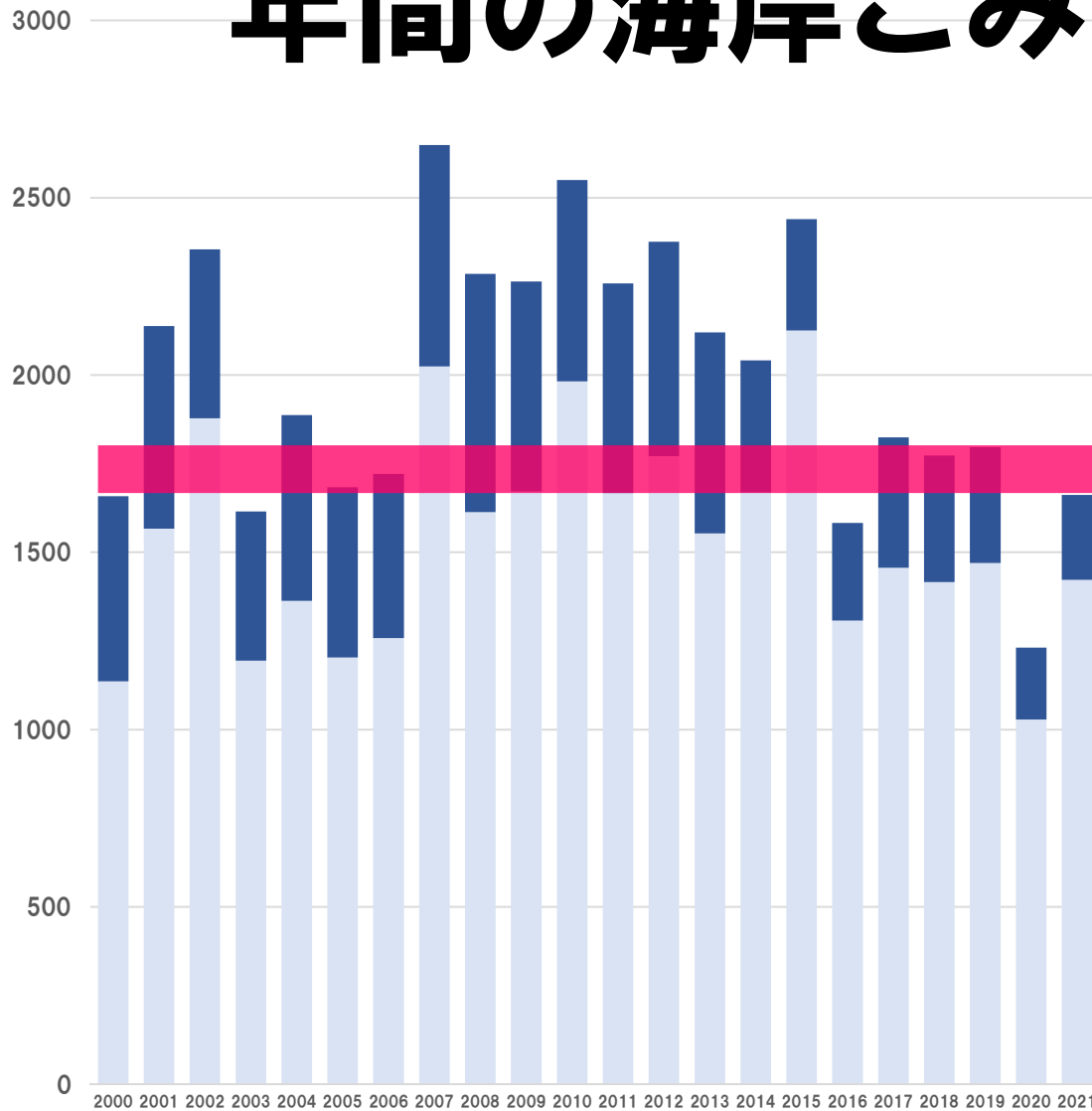
ボランティアの清掃



- 16万人の人の手
- 狭い場所、細かいごみを拾える
- 年間ごみ回収量：200トン

2つの清掃を連動させられる

年間の海岸ごみ量の推移

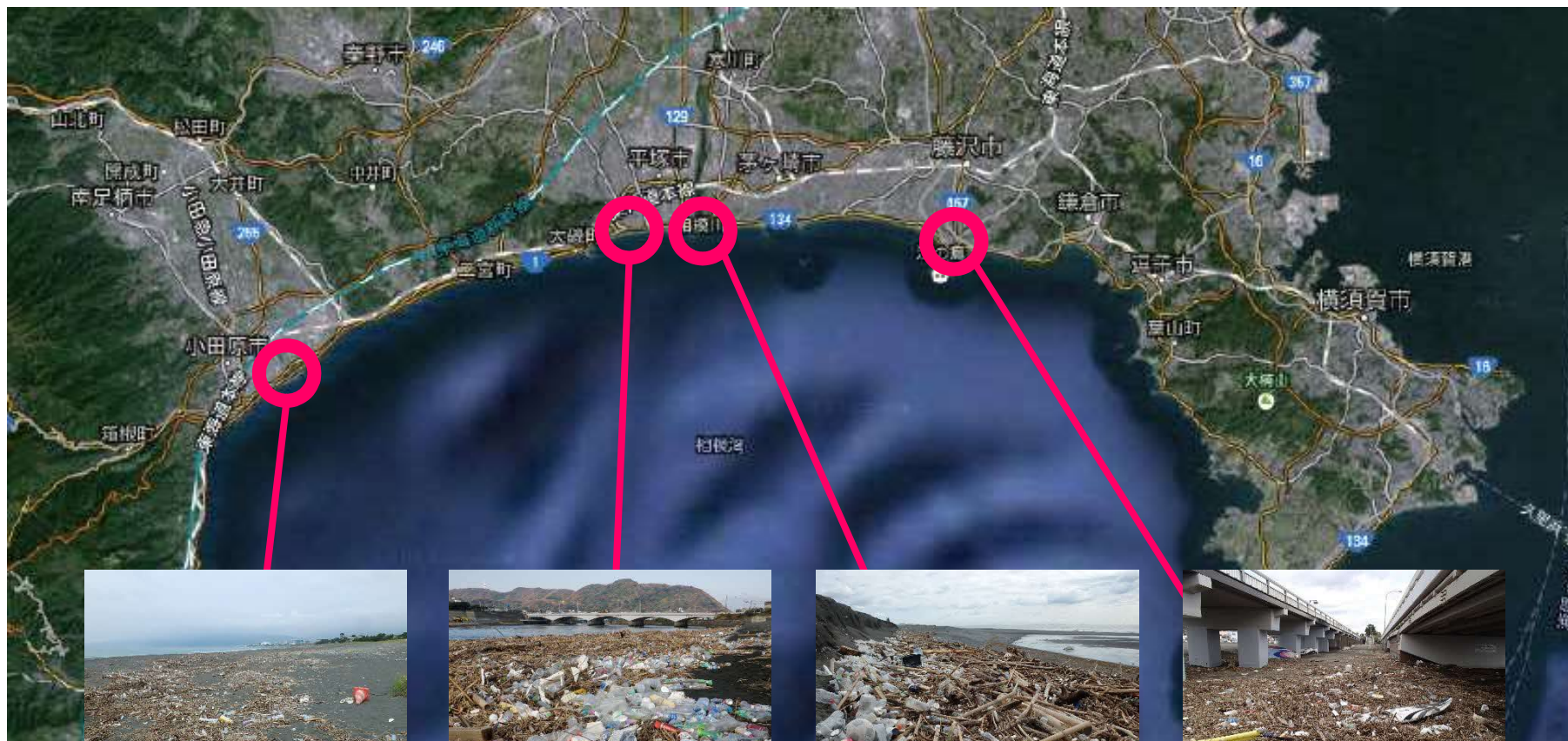


1700トン前後

海岸ごみ量は
天候によって上下

海ごみ問題は
古くて新しい

神奈川県4大海岸ごみが多い場所



酒匂川

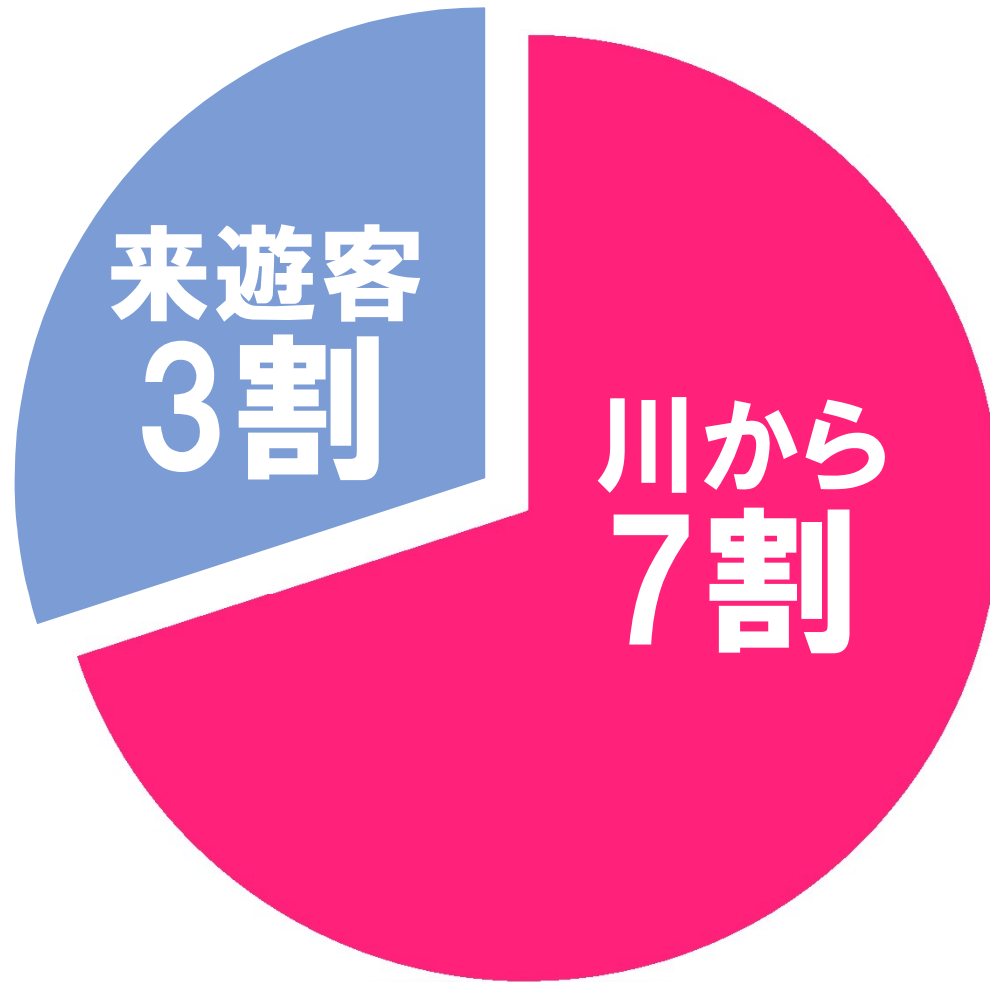
金目川

相模川

境川



海岸ごみ・・・海水浴客のごみ？



来遊客のごみ
全体の3割

海岸ごみは
川から
7割

道路の側溝



タバコが
捨てられている

この先は
どこ？





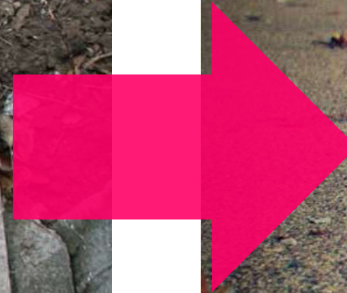








この先は・・・海



陸と海は水の流れて繋がっている





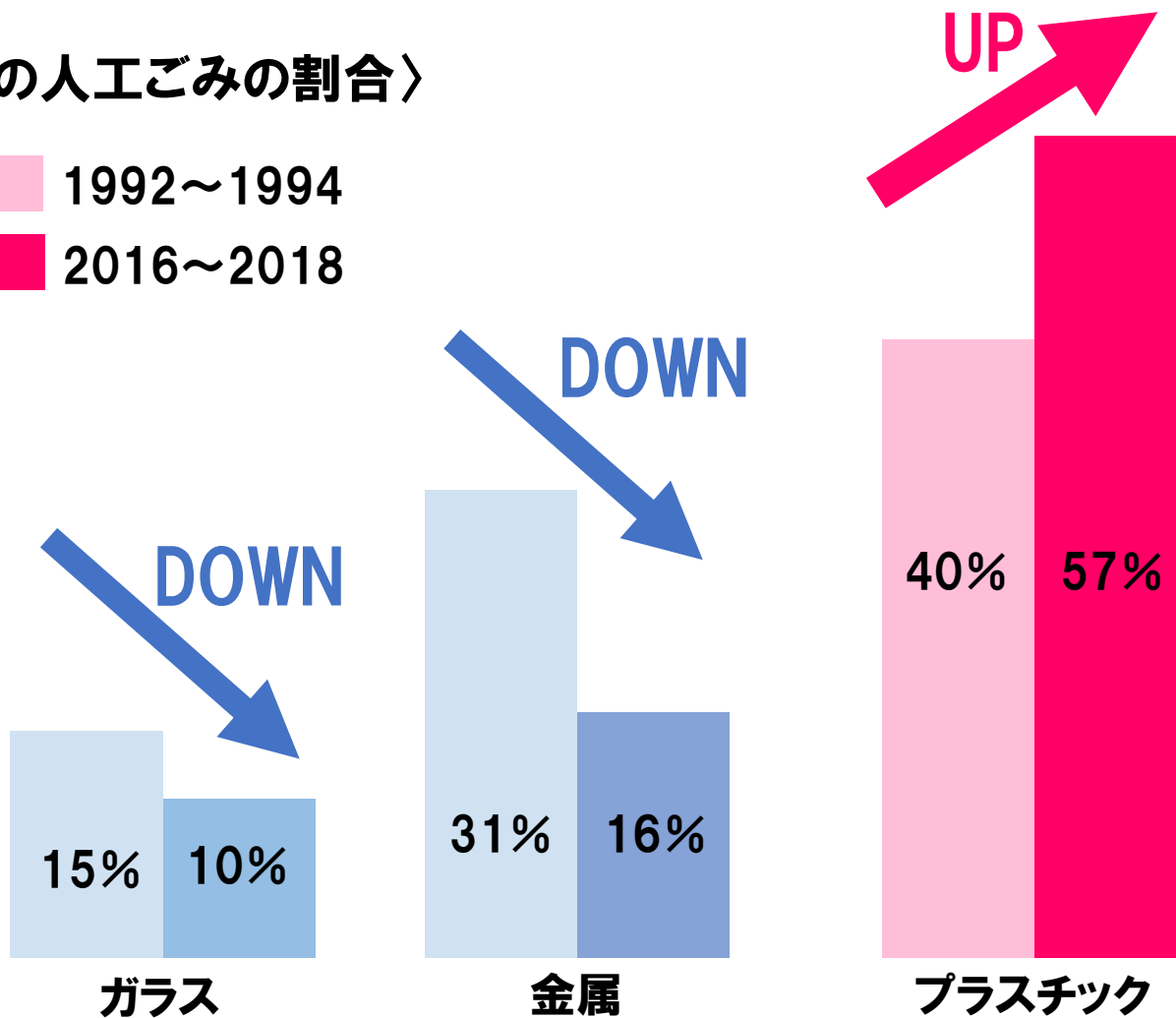
海のごみ問題は陸のごみ問題



増えるプラごみ

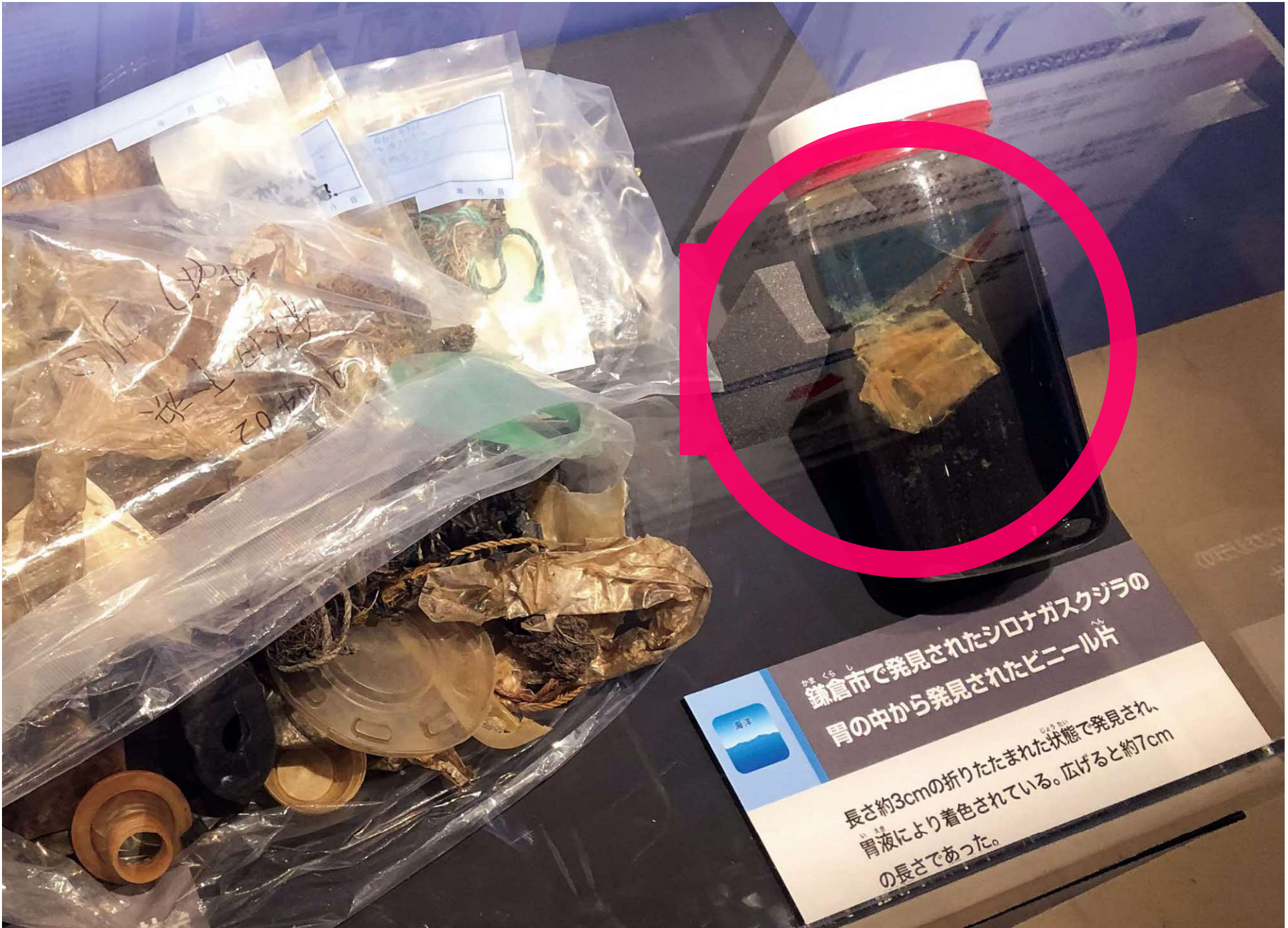
〈海岸の人工ごみの割合〉

1992~1994
2016~2018









かまくらし
鎌倉市で発見されたシロナガスクジラの
胃の中から発見されたビニール片
長さ約3cmの折りたたまれた状態で発見され、
胃液により着色されている。広げると約7cm
の長さであった。





海岸ごみを減らすには・・・

川から7割



プラスチックがメイン



陸域のプラごみを減らすことが重要

わたしたちにできること

入口＝日々の暮らし

出口＝海岸



これからのごみを出さない

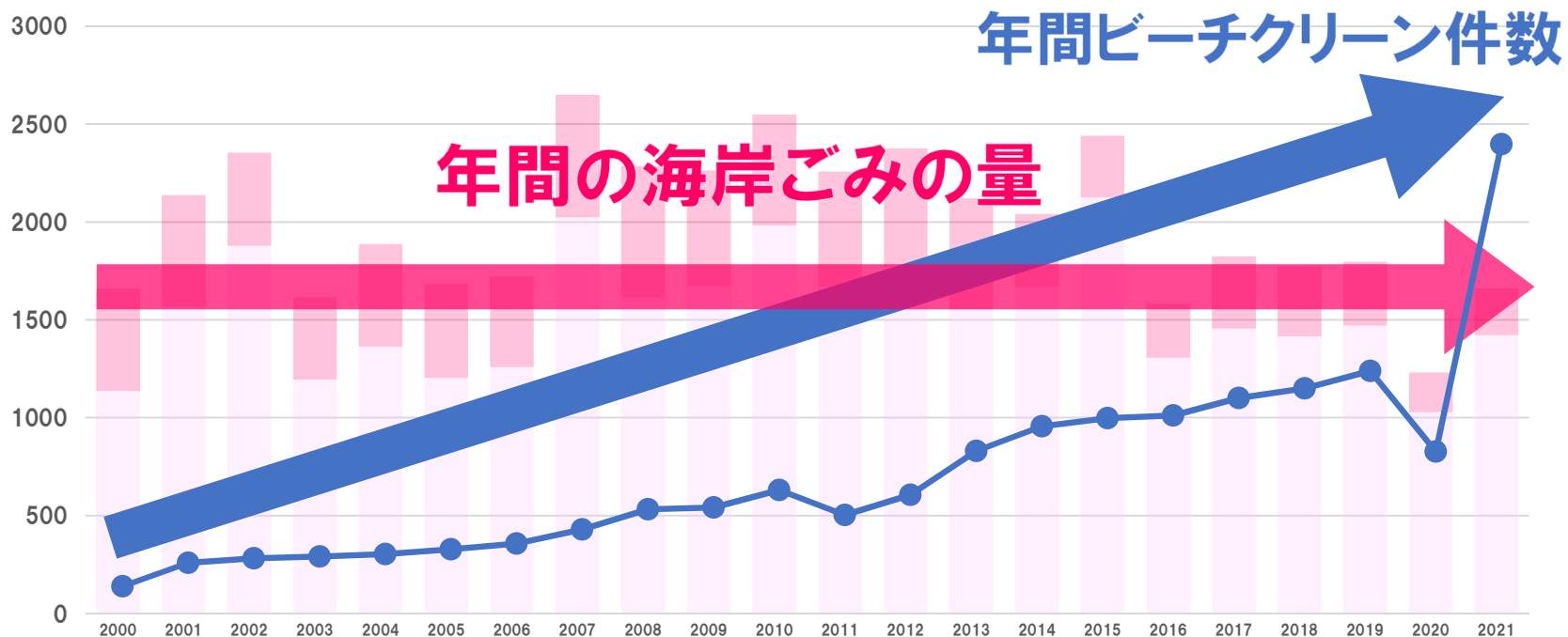


今あるごみを回収する

二つの方向から取り組む

海ごみ問題の一番の課題は

(ごみ量:トン / ビーチクリーンボランティア申込:件数)



拾う人は増えたが
ごみが減っていない



どんな海を残したいですか？